

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	保健センター
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	母子健康相談事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	妊娠期～出産～乳幼児期を通し、適切な時期に、保健指導、健康相談、各種健康教室を実施することで、母子の健全な育成と安心・安全に育児できる環境を整える。 妊娠期：はじめてのパパママ教室、さくらんぼ教室（マタニティ編） 乳幼児期：4か月児相談、乳児相談、幼児歯科健康診査、のびのび教室、ひまわり事業、さくらんぼ教室（子育て編）等	
	30年度概要 妊娠期～出産～乳幼児期を通し、適切な時期に、保健指導、健康相談、各種健康教室を実施することで、母子の健全な育成と安心・安全に育児できる環境を整える。 妊娠期：はじめてのパパママ教室、さくらんぼ教室マタニティ編 乳幼児期：4か月児相談、のびのび教室、ひまわり個別相談、さくらんぼ教室子育て編等、ことば相談、母子栄養食品	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	妊産婦及び乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	妊産婦の育児不安感や負担等を軽減し、母子の健全育成を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
各事業開催回数	回		5,364	4,767	1,727	1,727

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	各事業参加者数	人	目標値		30,000	31,000	32,680	32,680
			実績値		28,098	23,099		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 乳児相談が予約制になったことや、母子健康教育・母子保健セミナーの事業が終了したことで開催回数が減少し、参加者数が目標値に達していない。 （目標達成度）						（達成度） 74.5% 26点	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）						（達成度）	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	57,435	57,364	53,509	54,276
（事業費）	[円]	12,141	11,043	8,746	9,513
（職員人件費）	[円]	45,294	46,321	44,763	44,763

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

実績数は事業の終了等により昨年度よりやや低下した。事業内容や方法については、保護者のニーズを取り入れながら継続支援していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

継続実施する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	保健センター
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	こんには赤ちゃん事業（新生児訪問指導）		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後間もない乳児（生後4か月未満）がいる家庭を助産師や保健師などが家庭訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言を行うとともに、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供につなげる。		
30年度概要	妊産婦及び新生児等のいる全家庭約3,700件を訪問し、地域の育児支援情報の提供等で育児不安等を軽減し、育児支援を実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の新生児と産婦
意図（どのような状態にしたいか）	産婦の悩みを聞いたり、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、支援を行うとともに適切なサービスの提供につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
産婦訪問数	人		3,604	3,488	4,000	4,000
新生児訪問数	人		3,361	3,286	4,000	4,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	新生児訪問指導の未把握数	人	目標値		80	80	50	50
	実績値			99	46			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 142.5% 35点
	訪問実施率	%	目標値		100	100	100	100
実績値				92	93			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に近い形で支援ができています。 (目標達成度)							(達成度) 93.0% 32点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	34,370	35,211	31,979	34,729
（事業費）	[円]	21,319	21,864	19,081	21,831
（職員人件費）	[円]	13,051	13,347	12,898	12,898

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
訪問率は、例年とほぼ同程度である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
継続実施する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	保健センター
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	不妊治療費助成事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	特定不妊治療の経済的な負担を軽減するため、医療保険が適用されず高額な費用がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成する。			
	30年度 都道府県、中核市等が指定した医療機関で特定不妊治療をしている合算所得額が730万円未満で、妻の年齢が42歳以下の戸籍上の夫婦に対し助成する。なお、39歳以下は通算6回まで、40歳以上は通算3回まで助成する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	特定不妊治療助成を受けようとする夫婦。
意図（どのような状態にしたいか）	子どもを望む夫婦に対し、保険診療対象外の特定不妊治療費についてその一部を助成することで、経済的負担を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
特定不妊治療助成事業助成件数	件		487	528	576	576

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		特定不妊治療件数	件	実績値		487	528	576
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に近づいている。 (目標達成度)							(達成度) 91.7% 32点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	108,806	102,248	110,875	111,842
（事業費）	[円]	104,200	97,537	106,323	107,290
（職員人件費）	[円]	4,606	4,711	4,552	4,552

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 負担した治療費に対し、適切な助成を行い経済的負担を軽減した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 国の動向に準じて、市も内容等の改善を図る。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	保健センター
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	各種医療給付事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成する。 妊娠中毒症等療養看護費：母体保護と経済的負担を軽減するため、その治療に係る費用の一部を助成する。				
	30年度概要	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、医療受診券を交付し、現物給付を行う。 妊娠高血圧症候群医療給付：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、現物支給を行う。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

【事業の目的】

対象（何を）	各医療給付事業の条件を満たす者。
意図（どのような状態にしたいか）	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等による療養に必要な費用の一部を助成し、経済的負担を軽減する。 妊娠中毒症等療養看護費：母体保護と経済的負担を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
各事業の申請件数	件		1,212	1,246	1,250	1,250

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		各事業の給付件数	件	目標値		1,250	1,250	1,250
			実績値		1,212	1,246		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に近づいている。 (目標達成度)							(達成度) 99.7% 34点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	136,862	148,690	151,127	131,738
（事業費）	[円]	129,953	141,624	144,299	124,910
（職員人件費）	[円]	6,909	7,066	6,828	6,828

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成した。 妊娠中毒症等療養看護費：母体保護と経済的負担を軽減するため、その治療に係る費用の一部を助成した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
制度改正を機に、受給者の受給資格の再確認など、適正な支給に努める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	保健センター
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	妊娠期からの子育て世代包括支援事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子育て期にある若い世代が安心して妊娠、出産、子育てができる環境の実現が必要であり、妊娠期から子育て期にわたる様々な支援の支援のために、母子保健コーディネーターを配置し、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）を整備し、切れ目ない支援を実施する。 また、産後ケア事業の実施及び電子母子健康手帳の運用を行う。
-------	--

30年度概要	子育て世代包括支援センターの運営 ・総合的相談支援の実施 ・関係機関との連絡・調整 ・要支援妊婦における支援プランの作成及び実施 ・子育て世代包括支援ネットワーク会議の開催
--------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	妊娠期から子育て期にある子育て世代
意図（どのような状態にしたいか）	妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
母子保健相談件数	件		15,163	17,475	15,600	15,600
母子保健コーディネート件数	件		2,914	3,166	1,300	1,300

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
把握しているハイリスク妊婦のうち支援につながった割合	%	目標値		50	75	80	80
		実績値		76.7	72.2		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 支援件数は昨年と同様であったが、ハイリスク妊産婦の増加に伴い目標の達成に至らなかった。 (目標達成度)							(達成度) 96.3%
							33点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]		9,362	52,008	62,222
（事業費）	[円]		5,436	14,073	9,113
（職員人件費）	[円]		3,926	37,935	53,109

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

子育て世代包括支援センター業務が平成28年4月からスタートし、妊娠期からの母子健康手帳交付時面接から保健師等による切れ目ない支援を実施している。また、平成29年1月から総合センターの開設に伴う母子保健コーディネーター業務の充実や子育て世代包括支援ネットワーク会議を開催し関係機関との連携の強化を図っている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

母子保健コーディネーターと関係機関とが顔のみえる関係を築き、お互いに情報共有しながら連携強化に努め、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を目指す。